

国際情勢の理解	履修年次	1	
	単位	2	
鈴木 秀紀	配当期	前・後	
	授業方法	講義/ オンデマンド	
<b>授業の内容</b>			
<p>[授業の概要]          授業の進め方は、前回のコメントペーパーをもとにした質疑応答・補足→前回の基礎的項目の確認テスト→当日の内容の講義となる。授業後にはコメントペーパーの作成を行う(感想、質問、担当からの課題を manaba に提出)。毎回のテーマについての地理、歴史、経済理論、国際関係論などからのアプローチで基礎事項を確認し、日本との関わりや時事ニュースの解説を行う。本科目によって国際関係を理解し、幅広い視野を持った「人財」になることを望む。</p>			
<b>この科目の到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生および将来活躍する「人財」にとって必須の常識として、国際情勢に関心を持ち、基礎的な地理・歴史・日本との関係・経済・特徴について、解説ができる。</li> <li>・国際情勢の諸問題について、ニュースを理解し、客観的、冷静に、社会の一員として考察することができる。</li> <li>・国際情勢の理解を通じて、国内外のあらゆるダイバーシティを尊重しつつ、国際社会を他者と生きる積極的な態度を身につけ、国際社会の変化に柔軟に対応することができる。</li> </ul>			
<b>成績評価の方法</b>			
授業への積極的参画を伴う出席、そのための授業外学習、成果としての定期試験・提出課題・小テストの合計得点によって評価する。課題の提出は必須であり、未提出者には単位を与えない。			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンスデータで見る日本と世界の比較	8	世界の貿易と環境をめぐる動き
2	近現代までの日本の歩み	9	中間テスト
3	東西冷戦と紛争の変化	10	EU-リージョナリズムの問題点-
4	アメリカ合衆国-世界の中心としてのアメリカ-	11	東南アジアとASEAN-リージョナリズムへの取り組み-
5	ロシア連邦-冷戦と日露関係-	12	中華人民共和国-世界の覇権を目指す中国-
6	中東とイスラム諸国-IS のテロとイスラエル問題-	13	朝鮮半島-大韓民国と北朝鮮-
7	国際連合の仕組みと発展	14	その他国々(アフリカ、南米など)-新興国と貧困-